

## 令和6年 青森県保健医療計画(心筋梗塞等の心血管疾患対策) における数値目標の現状値等把握調査結果

### 1 目的

「青森県保健医療計画」における心筋梗塞等の心血管疾患対策の数値目標に関する評価及び青森県における心血管疾患の現状把握を目的とする。

### 2 調査項目

- (1) 急性心筋梗塞 (ST上昇型心筋梗塞)
- (2) 急性大動脈解離
- (3) 心不全

### 3 調査対象期間

- ・2024年1月～12月

### 4 調査依頼機関

- ・弘前大学医学部附属病院
- ・青森県立中央病院
- ・青森市民病院
- ・八戸市立市民病院
- ・青森労災病院 (※急性大動脈解離のみ)
- ・つがる総合病院
- ・三沢市立三沢病院
- ・むつ総合病院

(計 8 医療機関)

### 資料について

- ・ p.1～ 急性心筋梗塞 (ST上昇型心筋梗塞) 調査結果
- ・ p.5～ 急性大動脈解離 調査結果
- ・ p.8～ 心不全 調査結果





## 急性心筋梗塞 (ST上昇型心筋梗塞)

R 6 年調査

### ■ 調査項目

問 1 - 1 令和6年1月～12月までの急性心筋梗塞 (ST上昇型心筋梗塞) 患者のうち、  
経皮的冠動脈形成術 (PCI) を実施した患者数

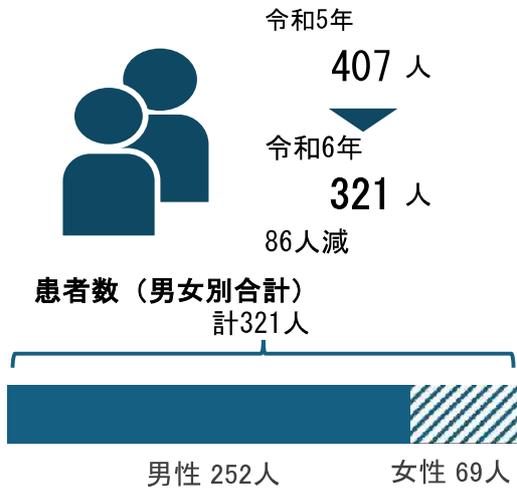
問 1 - 2 上記患者のうち、

①発症 (胸痛等) から来院までの時間数

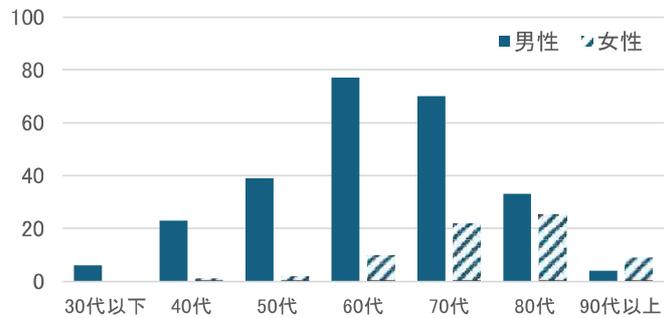
②症状発現後12時間以内に来院し、来院から90分以内にバルーンカテーテル  
による責任病変の再開通が行われた件数

### ■ 調査結果概要

#### 令和6年 PCI実施患者数

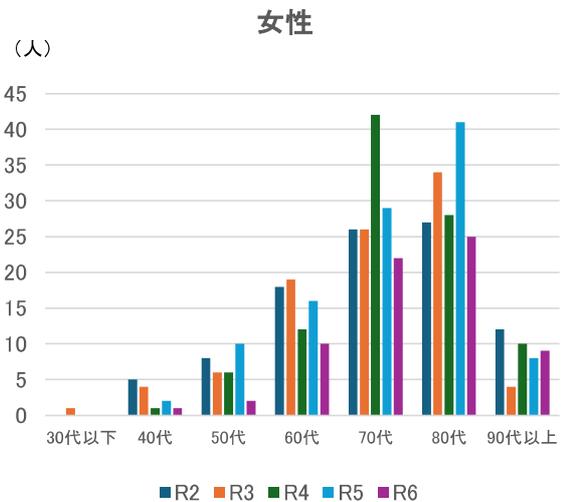
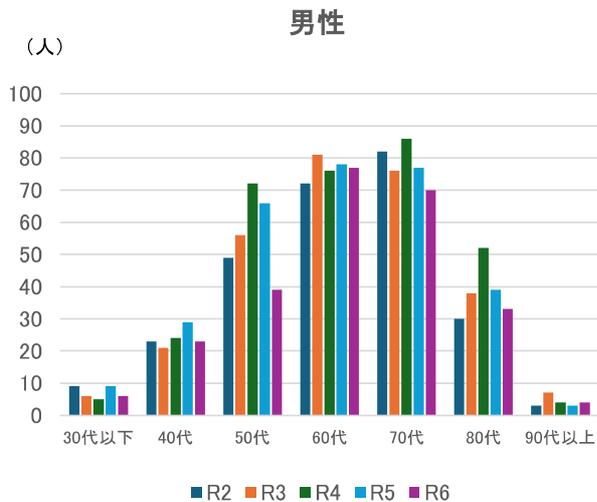


#### 令和6年 PCI実施患者数 (年代・性別)



- ・男女比は、およそ男性：女性＝25：7
- ・男性は60代、70代、50代の順に多い
- ・女性は80代、70代、60代の順に多い

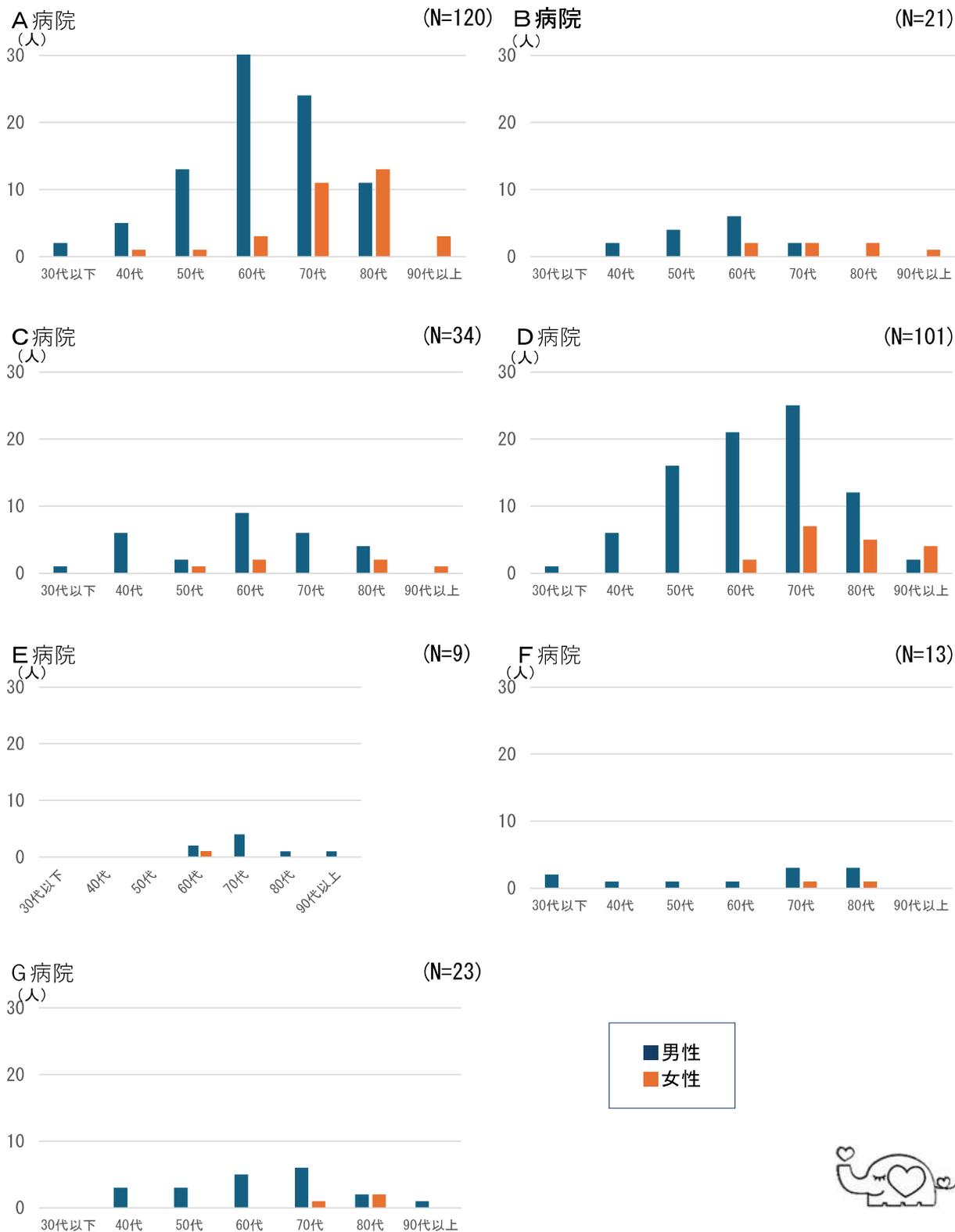
#### 【R2～R6】 PCI実施患者数 (年代・性別)



## 急性心筋梗塞 (ST上昇型心筋梗塞)

R 6 年調査

### 医療機関毎のP C I 実施患者数 (性別、年代別)



## 急性心筋梗塞（ST上昇型心筋梗塞）

R6年調査

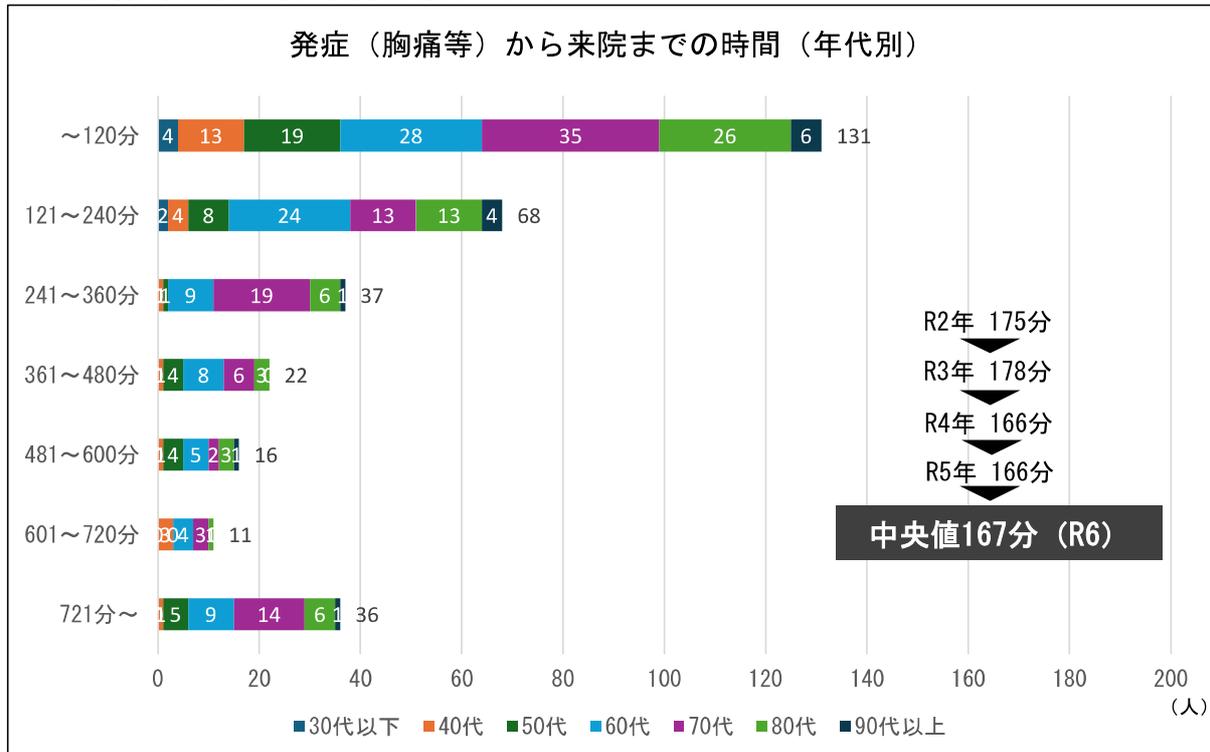
### 青森県保健医療計画における目標項目

初期アウトカム (B)	目標項目	推移	目標値	調査結果 (R6)
心筋梗塞等の心血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着し、治療を受けることができる体制	B3 急性心筋梗塞（ST上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間（中央値）	中央値 R4:166分 【策定時】	短縮	中央値167分
		R2:175分 R3:178分 R4:166分 R5:166分		

(参考) 第7次保健医療計画 目標数値

目標	目標項目	推移	目標値	結果 (R6)
医療機関は、患者に到着後速やかに専門的治療を行う。	急性心筋梗塞（ST上昇型心筋梗塞）に対し、症状発現後12時間以内に来院し、来院から90分以内にバルーンカテーテルによる責任病変の再開通が達成された件数	R2:197件/363件 (参考:54.3%) R3:233件/367件 (参考:63.5%) R4:254件/415件 (参考:61.2%) R5:235件/405件 (参考:58%)	増加	232件/321件 (参考:72.3%)

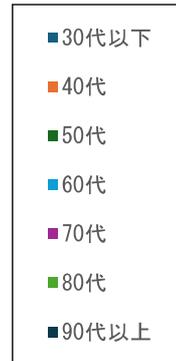
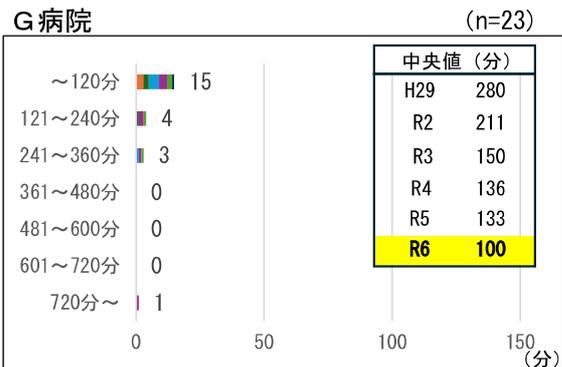
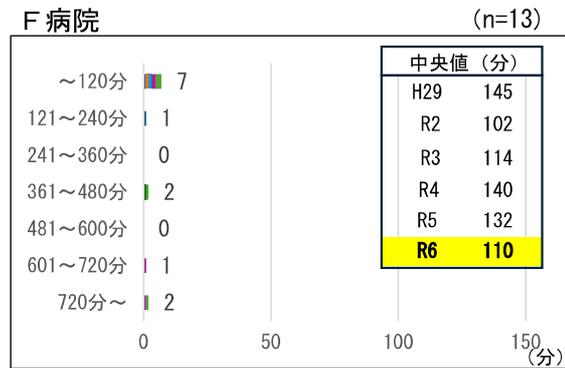
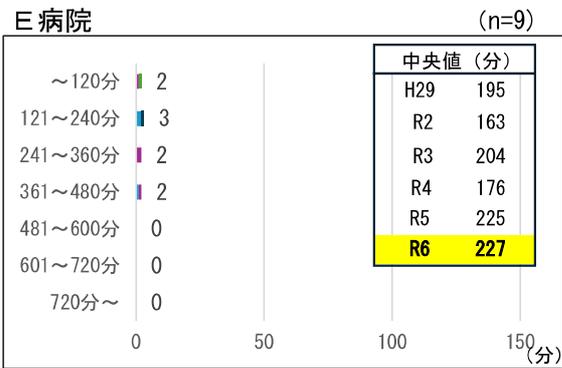
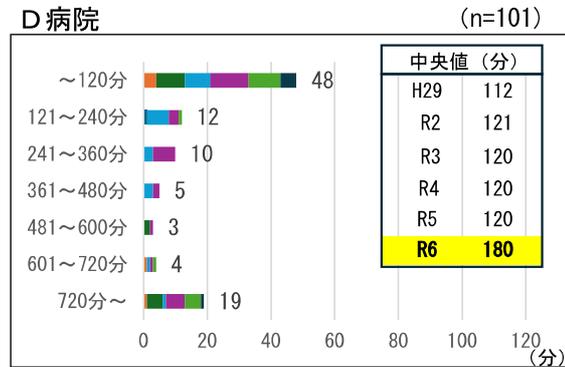
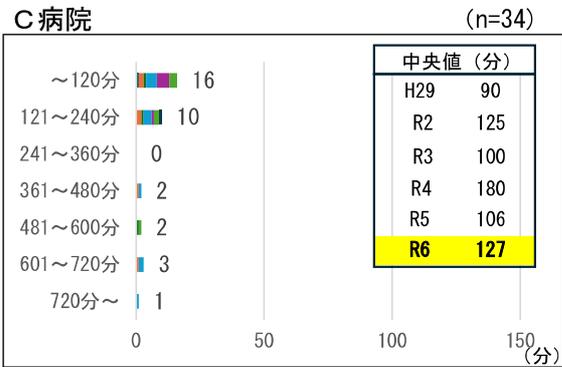
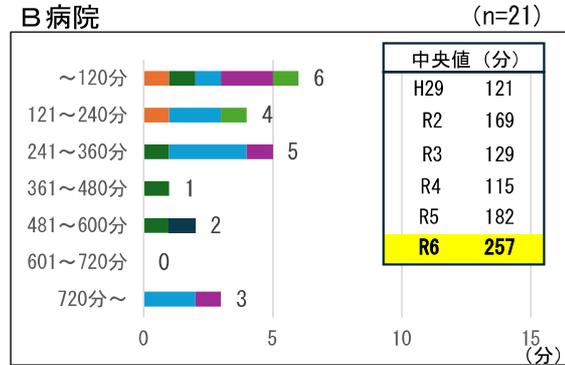
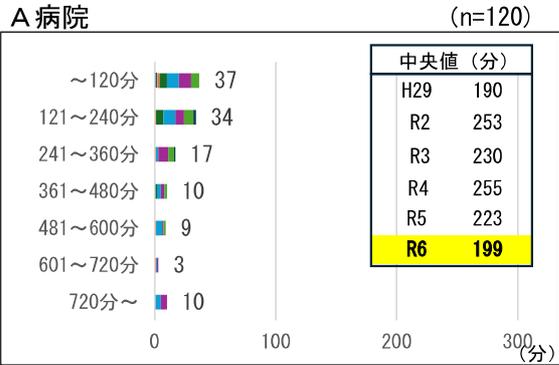
### 上記指標項目に係る調査結果 (R6)



急性心筋梗塞 (ST上昇型心筋梗塞)

R6年調査

■ 発症 (胸痛等) から来院までの時間 (分) (医療機関毎)



急性大動脈解離

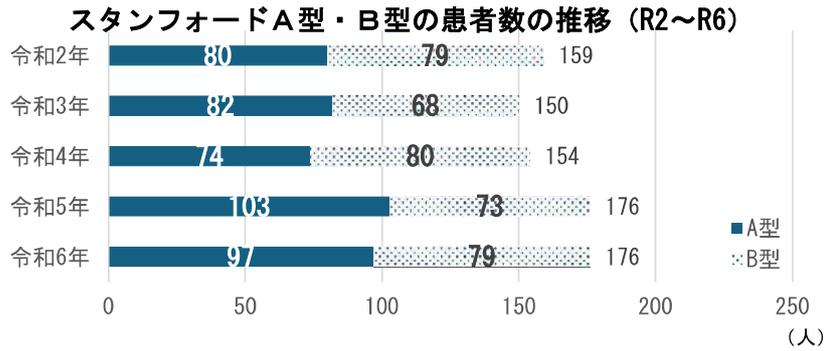
R 6 年調査

■ 調査項目

- 問1 令和6年1月～12月までの急性大動脈解離（発症後2週間以内のもの）の患者数
- 問2 上記患者の内訳

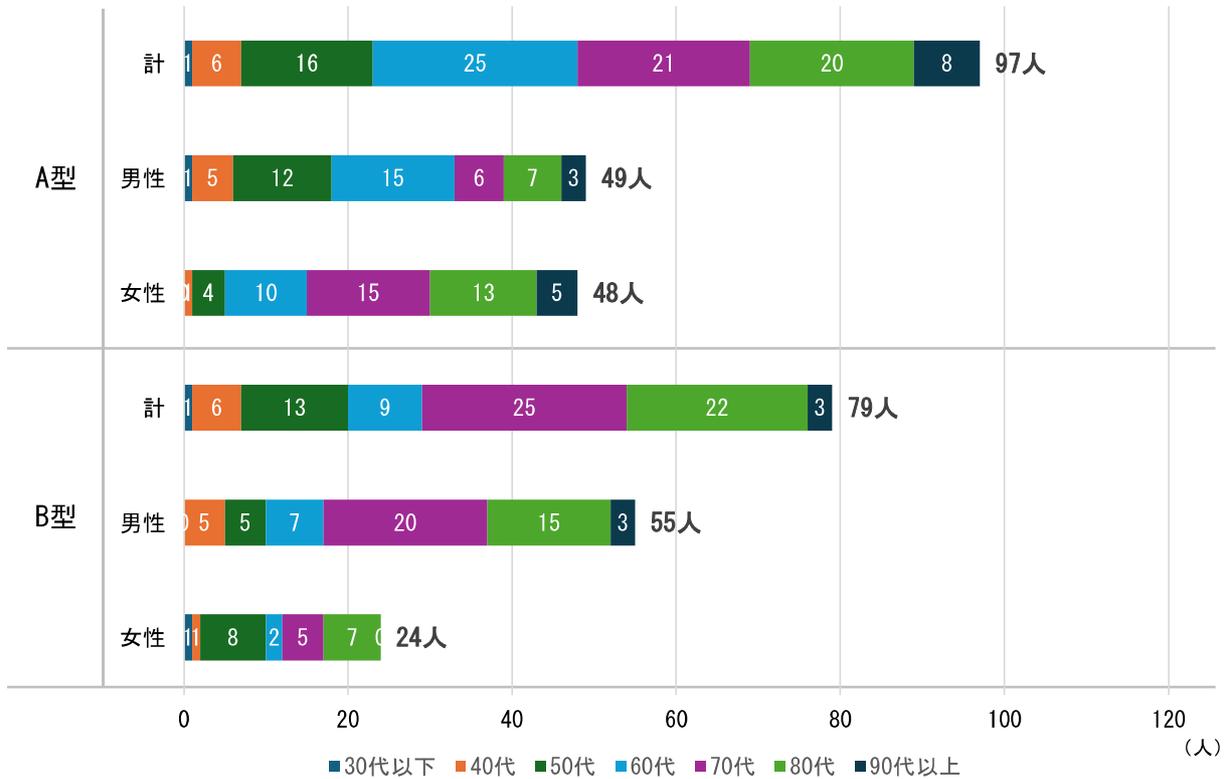
■ 調査結果概要

急性大動脈解離患者数



・ 令和6年は令和5年よりも  
A型は6人減少、B型は6人増加している。

スタンフォードA型・B型の内訳 (年代・性別) (R6)



急性大動脈解離

R6年調査

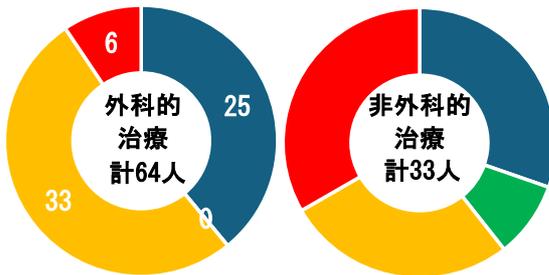
スタンフォードA型

A型のうち、外科的、非外科的治療の内訳



外科的治療 > 非外科的治療

転帰の内訳



■ 生存・自宅退院  
■ 循環器専門医への転院  
■ その他施設への転院 ■ 死亡

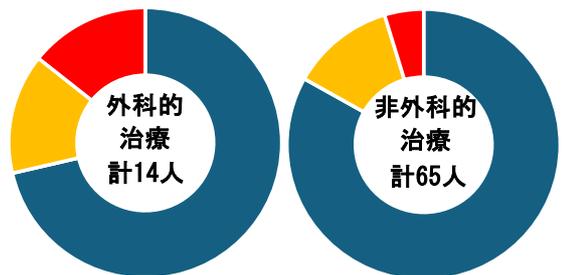
スタンフォードB型

B型のうち、外科的、非外科的治療の内訳



外科的治療 < 非外科的治療

転帰の内訳

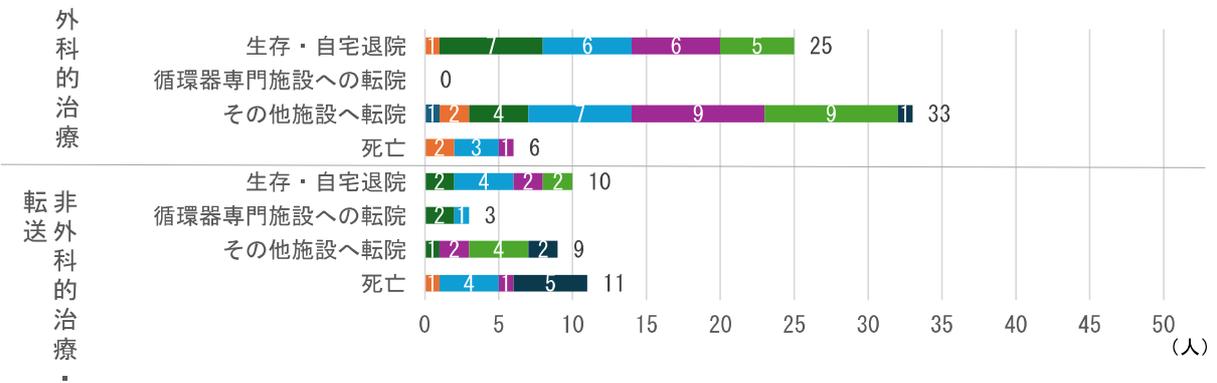


■ 生存・自宅退院  
■ 循環器専門医への転院  
■ その他施設への転院 ■ 死亡

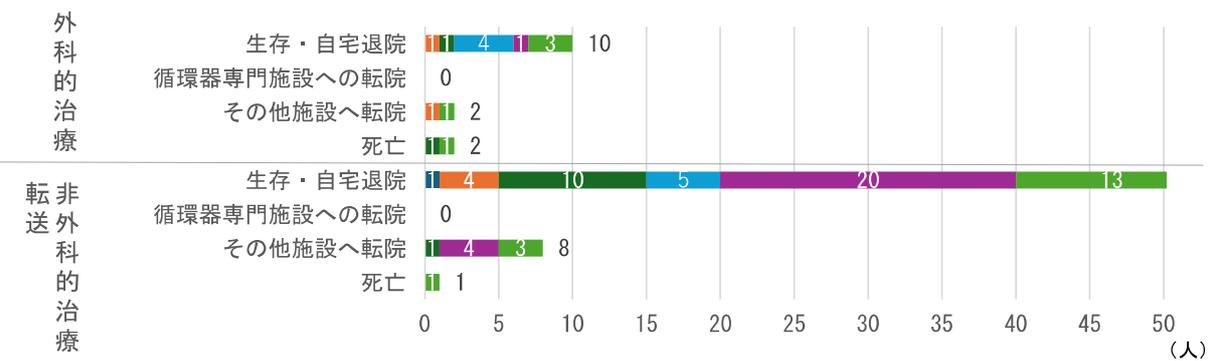
転帰の内訳(年代別)

■ ~30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代~

スタンフォードA型



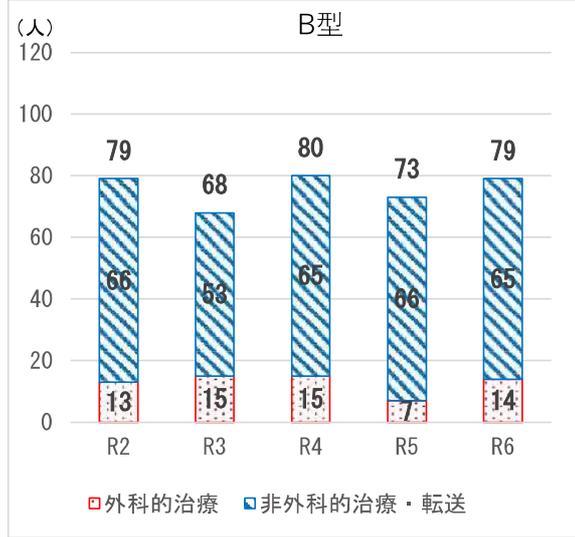
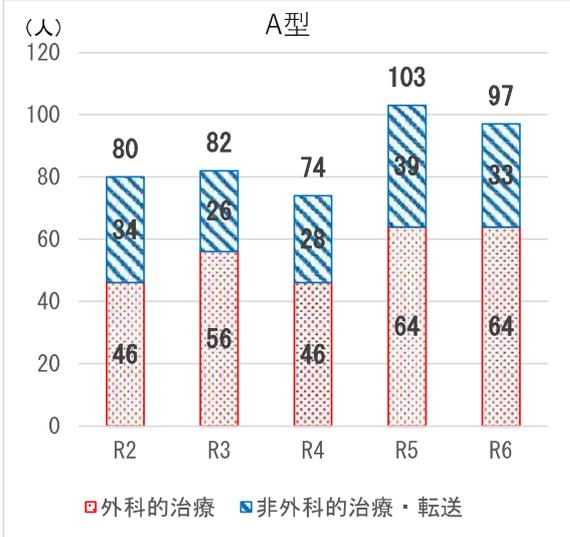
スタンフォードB型



急性大動脈解離

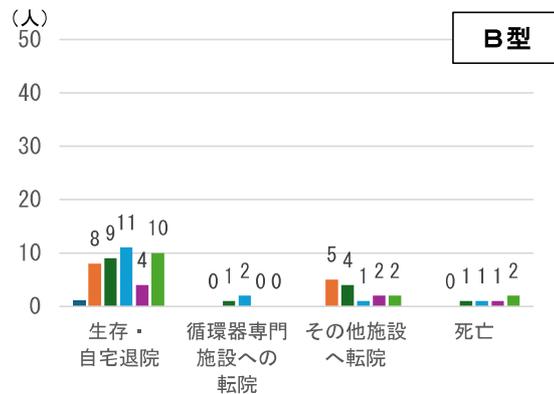
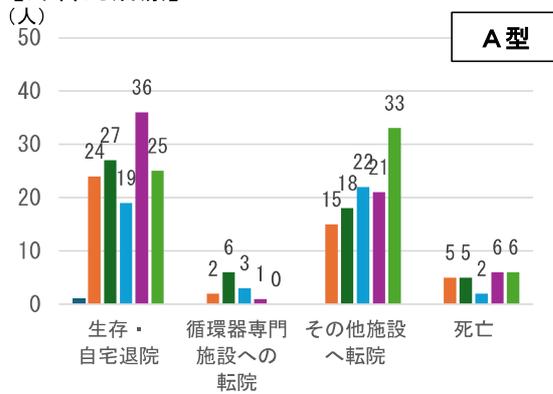
R6年調査

■ 外科的治療及び非外科的治療・転送の患者数の推移

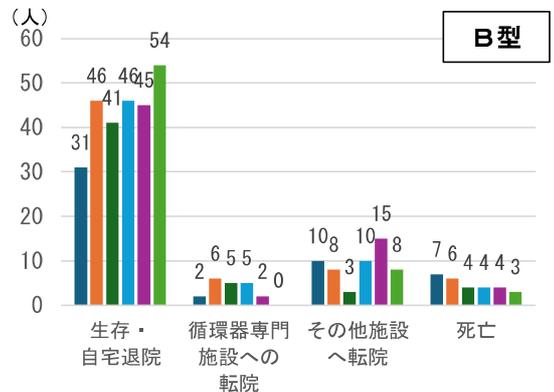
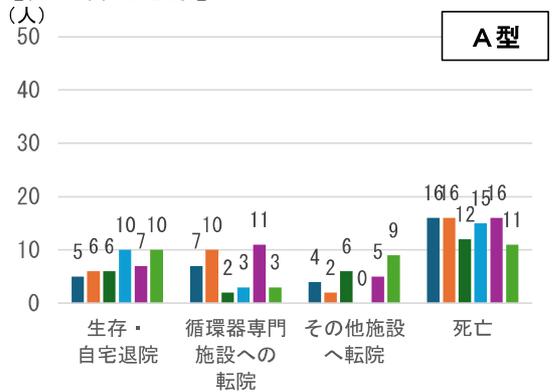


■ 外科的治療及び非外科的治療・転送の患者数の内訳の推移

【外科的治療】



【非外科的治療】



■ R2 ■ R3 ■ R4 ■ R5 ■ R6

**心不全** R 6年調査

■ 調査項目

問 2024年1月～12月までの心不全による入院患者数

■ 調査結果概要

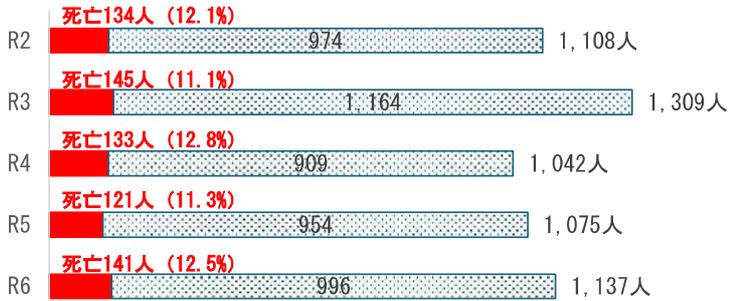
**心不全による入院患者数**



令和5年  
1,075人

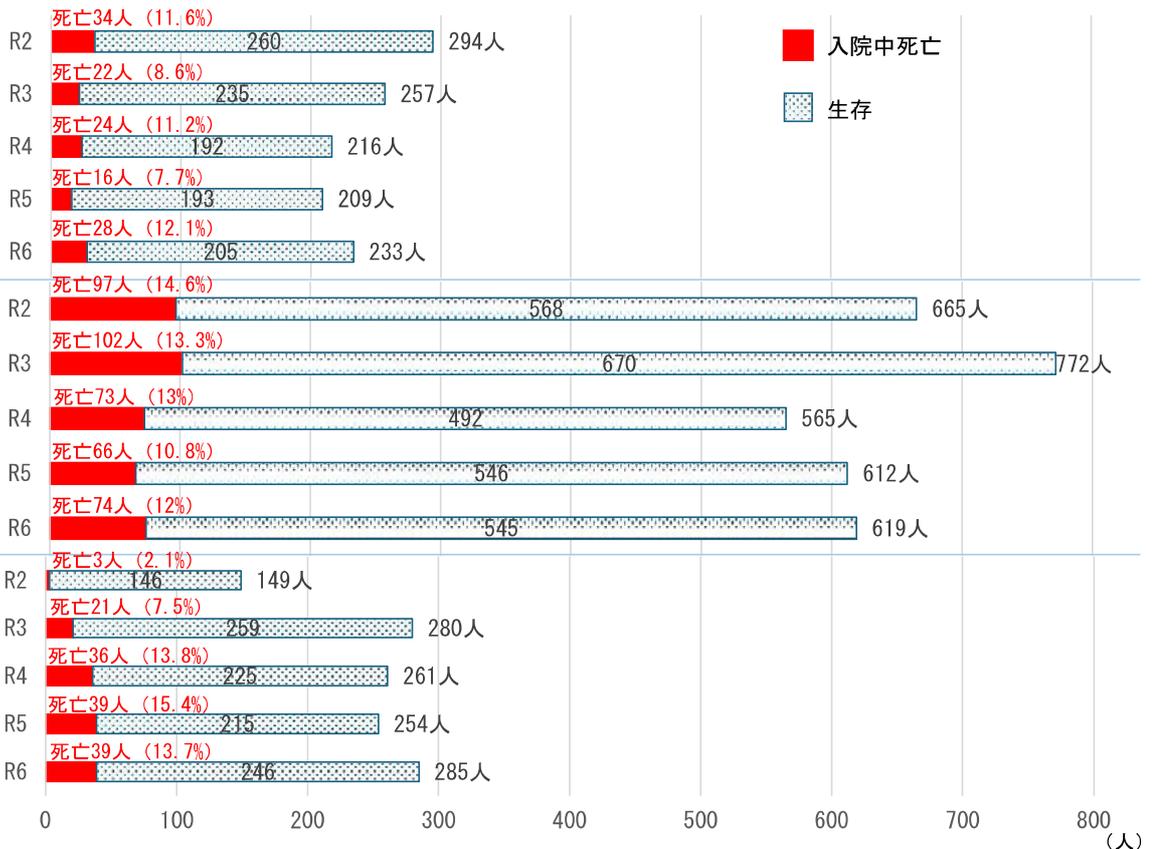
令和6年  
**1,137人**

62人増 ↑



- ・心不全による入院患者数は令和5年と比べて増加
- ・入院中死亡率は令和5年11.3%、令和6年12.5%と、1.2%増加した

**心不全による入院患者数の推移**



※入院初月のみを計上することとし、複数月継続して入院している患者は計上していない。  
 なお、同月中に短期間であっても一度退院している場合は、複数回計上している。  
 (例) 1月入院→3月退院: 1月に1件のみ計上  
 1月入院→1月退院→1月再入院: 1月に2件計上

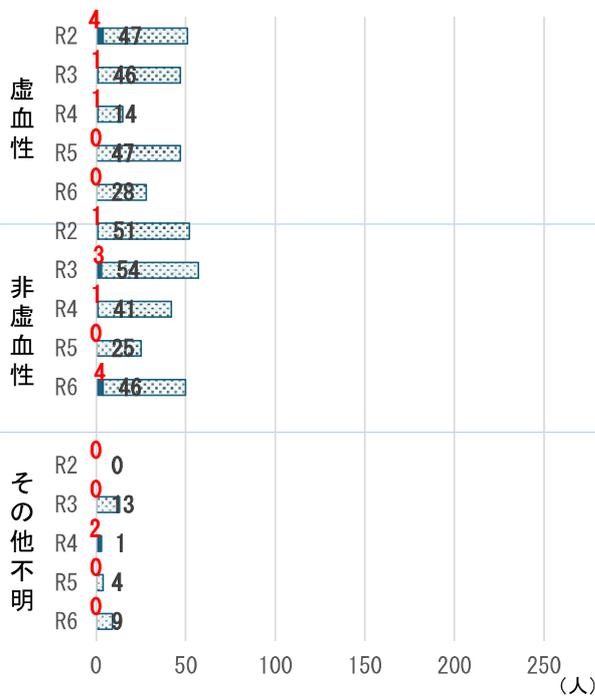
※虚血性、非虚血性、不明の内訳について  
 (a)虚血性: 虚血性心疾患と診断  
 (b)非虚血性: 心不全の原因として非虚血性心疾患(心筋症や弁膜症、先天性心疾患など)が診断されているもの。  
 (c)不明: (a)(b)以外のもの

心不全

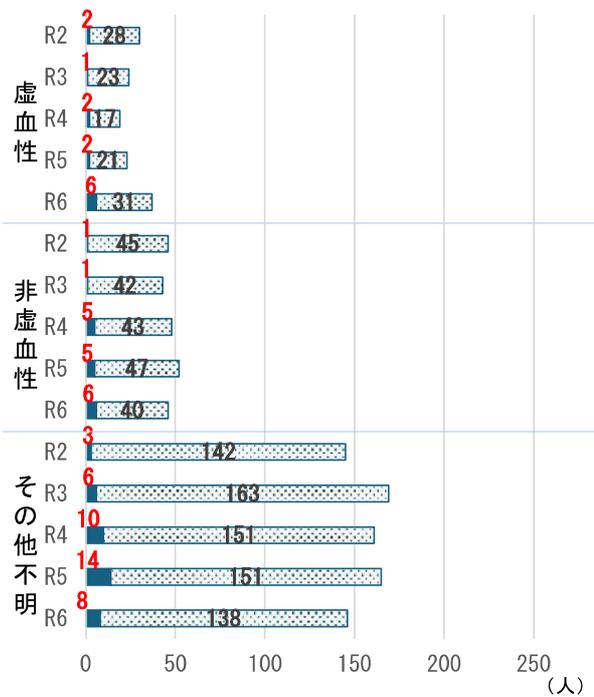
医療機関別患者数内訳

R6年調査

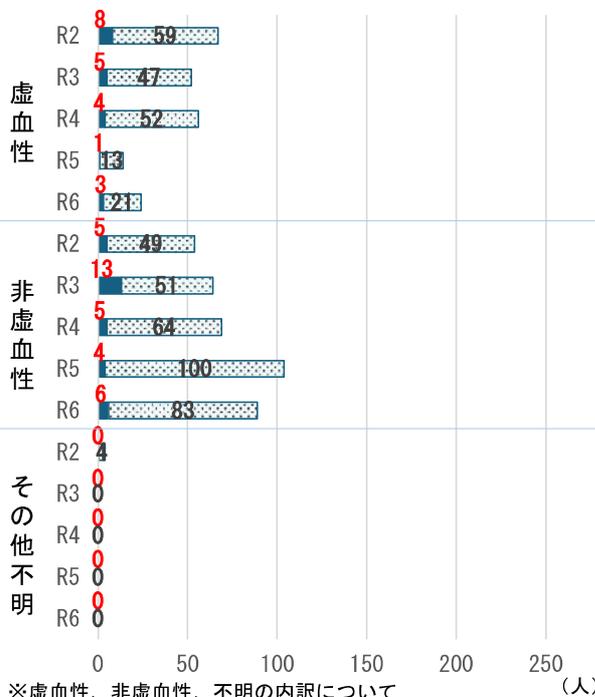
A病院



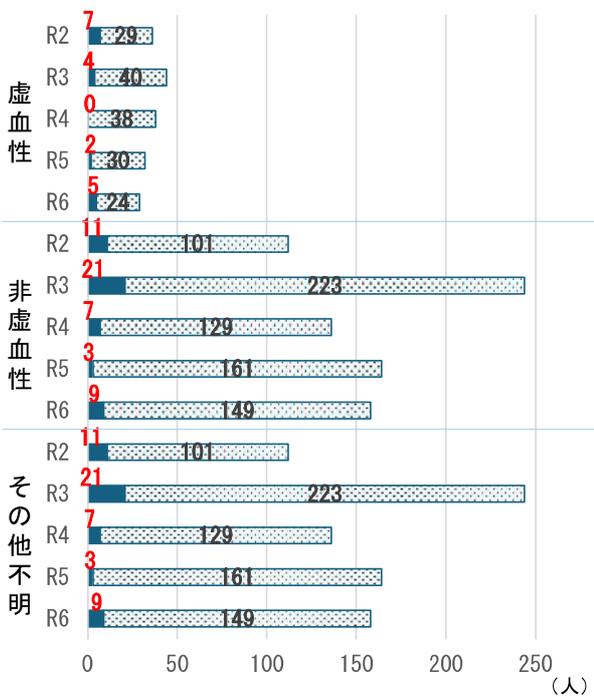
B病院



C病院



D病院



※虚血性、非虚血性、不明の内訳について

(a)虚血性：虚血性心疾患と診断

(b)非虚血性：心不全の原因として非虚血性心疾患（心筋症や弁膜症、先天性心疾患など）が診断されているもの。

(c)不明：(a)(b)以外のもの

■ 入院中死亡

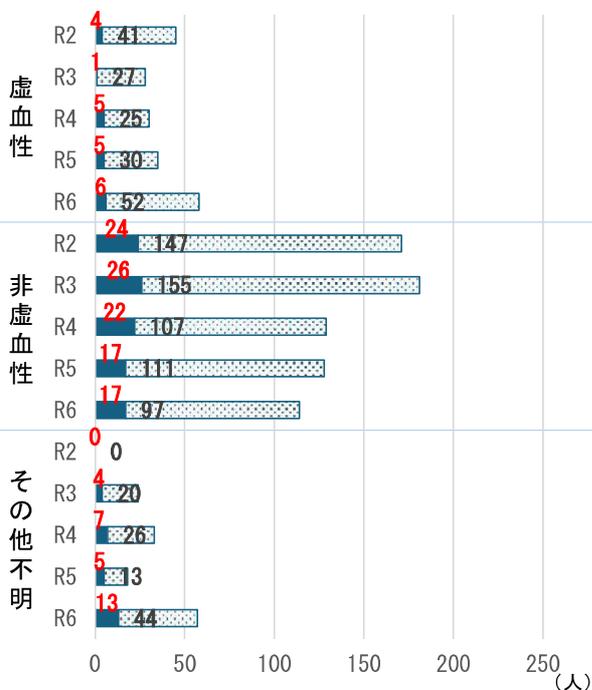
▨ 生存

心不全

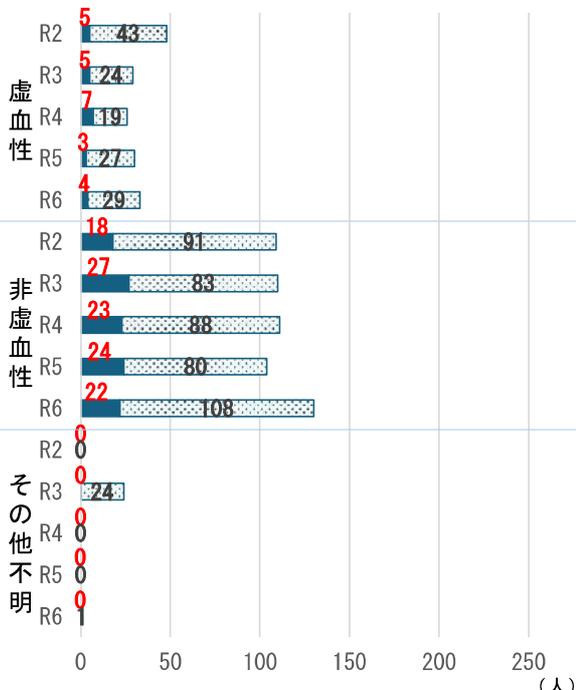
医療機関別患者数内訳

R6年調査

E 病院



F 病院



G 病院



※虚血性、非虚血性、不明の内訳について

(a) 虚血性：虚血性心疾患と診断

(b) 非虚血性：心不全の原因として非虚血性心疾患（心筋症や弁膜症、先天性心疾患など）が診断されているもの。

(c) 不明：(a) (b) 以外のもの

